

第4回中海会議【概要】

H25.11.19 ホテル白鳥（松江市）

議事（部会・ワーキングからの報告事項）

（1）中海湖岸堤等整備に係る調整会議（説明者：国土交通省出雲河川事務所）

【意見等】

■松江市長

- ・国を中心に、大橋川改修、堤防整備が進んでいることに感謝申し上げる。
- ・中海湖岸堤整備及び大橋川改修が本格的に実施されることになるが、事業が停滞することのな
いよう、適切な予算措置をお願いしたい。

■中国地方整備局副局長

- ・湖岸堤の短期整備箇所等について、実務的にきちんと整理をして要求していく。
- ・全体としてスムーズに進むよう取り組む。

■米子市長

- ・旗ヶ崎箇所について、今年度逆流防止施設の工事着手に向け詳細設計の協議をいただいている
が、緊急対策としてポンプ車などの対応をお願いしたい。
- ・また、承水路の幅が現在より狭くなるということで、この点について関係住民の皆様に十分理
解していただけるよう説明をよろしくをお願いしたい。

■出雲河川事務所長

- ・市町からの要望等、綿密に情報を交換しながら、緊急時に排水ポンプ車を派遣する等対応して
いきたい。
- ・逆流防止施設の幅の件については、地元の方にご理解いただけるよう、引き続き説明、協議さ
せていただく。

■鳥取県知事

- ・大橋川の拡幅の条件として、国交省にも認めていただいているのは、大橋川拡幅で流量が増え
る前に中海湖岸堤整備を行うこと。共通理解として、短中期整備箇所は大橋川下流部の拡幅が
完了する前に、また中期整備箇所は大橋川上流部の拡幅が終わる前に前倒しして整備していく
という前提で協議をしていると思う。その辺の順序を間違えないようお願いする。

■中国地方整備局副局長

- ・中海湖岸堤については、引き続き河川整備計画に示した手順により整備促進を図る。未着手の
短期整備箇所は、今年度内の工事着手に向けて取り組んでいるところ。大橋川の拡幅工事につ
いては、湖岸堤の短期整備箇所の状況も配慮しながら、関係自治体と情報共有を密にして対応
していきたい。

(2) 中海の水質及び流動会議（説明者：島根県環境生活部環境政策課）

【意見等】

■米子市長

- ・米子湾の流動観測、またその観測結果に基づく流動解析を実施していただき大変ありがたく思っている。
- ・今後の底質調査や流入負荷量調査結果を踏まえて、米子湾の流動特性に応じた水質浄化対策を検討するという事なので、米子湾を含めた中海の水質浄化に大いに期待している。
- ・一方で、中海全般の水質は、COD、全窒素、全リン、いずれの項目についても環境基準値及び第5期湖沼水質保全計画の水質目標値を達成していない。水質改善についてはいろいろな要素があるが、森山堤の一部開削から4年、また西部承水路堤の撤去から3年が経過しているが、水質が改善されない状況が続いている。米子市としては、更なる水質改善策を協議検討していかなければならないと考えているので、今後ともよろしくお願ひしたい。

■境港市長

- ・鳥取・島根両県の連携事業の「アマモ刈りによる栄養塩循環システムモデル構築事業」は、今年度が最終年度となる。事業の実証効果は定かでないところもあるが、中海の水質保全に大変意義ある事業と考えている。両県において事業のあり方を検討されていると聞いているが、来年度以降も、行政と民間が一緒になって水質浄化に向かうこの事業をぜひとも継続していただきたい。

■松江市長

- ・中海のサルボウガイ養殖試験結果が非常に成功したと公表された。これは、水面下3mから3.5mくらいのところにつり下げて養殖するもの。これには、経費も労力も掛かるため、ゆくゆくは従前のような海底での放流、繁殖を目指していかなければならない。そのためには、どういう水質になれば昔のようになるのか、どういうふうにしたら水質浄化等が可能なのかというところについて、ぜひ県を含めた関係当局の支援をお願いしたい。

■鳥取県知事

- ・ぜひ、水質改善を実効性のあるように進めていただきたい。
- ・水質結果から、固定観念として米子湾さえ何とかなればいいということではどうもなく、むしろもっと上流の方も含めて水質改善については全般的にやっていかないと、なかなかいい水との交換が行われない環境もあるかもしれないし、湖底の地形として悪い水質がたまりやすいところ、そこの対策を何らか実験的にも考えながら、今後の方向性、有効な手だてというのを、国交省とか一緒に考えて行く必要があると思われるが、分析とその辺りの今後の有効な対策について御示唆なり見解をいただきたい。

■島根県環境政策課長

- ・宍道湖も中海同様、夏になると底質からのリンの溶出がある。昨年、宍道湖で気候が安定したこともあり、リンの溶出がかなりあり、これが中海に流れ込んだことにより、宍道湖、大橋川に近い地点の観測結果に影響したのではないかというふうに見ている。
- ・米子湾については流動等の調査結果があり、今後、底質それから流入の結果も踏まえて、塩化物イオン濃度の傾向、いわば塩分成層の傾向など分析し、どのような対策が必要で効果的なのか、国交省それから両県で検討を重ねていきたいと考えている。

■島根県知事

- ・いろいろな意見も出ているので、今後参考にして、幹事会、水質部会でよく検討して、対策なりあるいは調査なり、あるいは今後の調査の計画をどうするか、そういった点をよく議論していただいて、また報告をいただきたい。

(3) 中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ (説明者：米子市経済部農林課)

【意見等】

■米子市長

- ・農地の排水不良の対策として、圃場を客土、残土によってかさ上げすることが効果があると思っており、会議の構成員の皆さん方のところで、残土の情報、提供がいただけるものがあれば、協力いただきたい。

■鳥取県知事

- ・中四国農政局長の先ほどのご挨拶の中で、中海干拓事業は今年度事業完了というお話があった。中海干拓は、淡水化は中止ということで終了となったわけではあるが、地元での残事業があるので今後とも農水省として現場のケアをやっていただきたい。

■中四国農政局長

- ・地元要望等も、これまでいろいろと相談させていただいており、今後ともそれぞれのケース毎に相談させていただいて対処していきたい。

(4) 中海の利活用に関するワーキンググループ

(説明者：鳥取県未来づくり推進局、鳥取県西部総合事務所)

※併せて、「中海水産資源生産力回復調査の実施状況」について、鳥取県水産試験場から報告。

【意見等】

■松江市長

- ・中海市長会で「中海ライド」にいろいろな形で支援している。まだまだ周知不足だが本格的なイベントとして育てていく必要があると思っている。そのためには、もう少しNPOとか民間団体との連携とかやりながら、幅広くやっていく必要があると思うので、また両県の支援をお願いしたい。
- ・EVカーも中海市長会で精力的に取り組んでいるが、急速充電器の普及のさせ方について、鳥取県と島根県で若干やり方が違うような気がする。中海関係、あるいは中海・宍道湖・大山圏域関係全体としてバランスのとれた急速充電器の設置ができるように、ぜひ支援をお願いする。また、民間が急速充電器の設置をする場合も何か支援をするような制度を設けていく必要があると思っているのでよろしくをお願いしたい。

■鳥取県知事

- ・大山周りは、エコツーリズム、スポーツツーリズムの商品としてサイクリングが結構売れている。中海の方も当然ながらいいコースになると思う。鳥取県では予算をつけて、道路にペインティングして道路標示をやるかと考えているので、足並みが揃うといいと思う。今、しまなみ海道が先駆けてされており、接続としてこちらの方に回ってきてもおかしくないの、そこを認識して取り組んだらどうかと思う。
- ・EVカーについては、鳥取県側で計画的に民間の支援を含めてやっているの、参考にしていただければと思う。

- ・もともと中海七珍というような郷土料理もある。出雲大社の関係もあり今観光客も増えているので、観光の目玉として「食」で勝負するということも新しい付加価値としてぜひ共同で開発できればいい。

■中国地方整備局副局長

- ・鳥取県知事のお話しのとおり「食」を地域の活性化に向けて役立てるようにはしていただきたい。
- ・国交省として、まちづくり、地域づくり、幅広くいろいろな意味で応援しており、またいろいろな役割を持っている。こういった意味で何か相談事があったらぜひ声をかけていただきたい。

■島根県知事

- ・利活用については、松江市長も言われたように、行政だけでなく民間の方々がリードしておられるものもあり、できるだけ連携をよくしてやっていくことが大事と考える。
- ・県内での連携、両県間の連携、民間の方々との協調、連携、国にもお願いすることもあるので、各ワーキンググループ、検討チームで情報の交換、連携をやっていただき、中海会議の場で情報を共有しながら、中海圏域の発展に努力をしなければならないと思っている。